

ヒューマンコミュニケーション特集（和文論文誌D）論文募集

ヒューマンコミュニケーション特集編集委員会

情報通信技術（ICT）の進歩によって私たちの生活の利便性は向上する一方で、生活の多様化・複雑化に伴いプラスの側面ばかりとは限りません。技術の進化は私たちの一人一人の生活を変えると共に、他者や生活環境との関わり方をも変えていきつつあります。このような状況のもと人が技術・社会・環境と相互に豊かに関わるためのコミュニケーションの研究を横断的に議論する必要性から、ヒューマンコミュニケーショングループでは、平成16年から隔年で、平成25年からは毎年特集を発行しています。日頃の研究成果を論文として広く情報発信する絶好の機会ですので、是非投稿を御検討下さい。

なお本特集では、ヒューマンコミュニケーション研究の成果をよりの確に伝えるために、画像・映像・音声等のデジタルデータを論文に添付することを可能にします。ただし、これらの追加データは査読プロセスにおける参考資料としての利用に留められ、採録に伴う公開は行いませんので御注意下さい。

1. 対象分野

- ・ヒューマンコミュニケーション基礎
- ・ヒューマン情報処理
- ・メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎
- ・福祉情報工学
- ・発達障害支援
- ・ヒューマンプロープ
- ・食メディア
- ・情報の認知と行動
- ・ヴァーバル・ノンヴァーバル・コミュニケーション
- ・魅力工学
- ・リアルタイムコミュニケーション言語
- ・その他、ヒューマンコミュニケーションに関する全般、あるいは新領域

2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり8ページ以内、レターは刷り上がり2ページ以内とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。また、和文論文誌Dの掲載論文は、早期公開の対象となります。詳細につきましては「和文論文誌投稿のしおり」http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日間）が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

- ・電子情報通信学会論文投稿システム（下記URL）を用いて「D 情報・システム：ヒューマンコミュニケーション特集」へ電子投稿して下さい。
https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx
- ・追加のデジタルデータを論文の査読プロセスにおける参考資料として添付したい場合は、下記に従って送付して下さい。
 - ① 論文本体は完結する首尾一貫した内容であることが求められ、添付されるデジタルデータはあくまでも査読プロセスにおける参考資料として利用されます。
 - ② たとえデジタルデータを添付した論文が採録されたとしても、論文誌やそれに準ずるメディアにはその論文のみが掲載され、添付されたデジタルデータは公開されません。
 - ③ デジタルデータの容量上限については以下のようにさせていただきます。

- (a) 1 ファイルあたりの上限は 50MB とします.
 - (b) 1 論文あたりのファイル容量・ファイル数に上限はありませんが、音声・動画の場合は 5 分程度を上限として下さい.
- ④ 投稿論文へのデジタルデータの添付（提出）方法は以下の通りです.
- (a) デジタルデータを収録したメディア（CD/DVD あるいは USB メモリ）を事務局まで投稿締切日までに送付して下さい.
 - (b) 必ず投稿した論文のタイトル及び著者等を分かりやすく表記し、投稿論文とメディアとが正しく対応づくようにして下さい.

4. 主なスケジュール

投稿締切 2019 年 4 月 26 日（金） 23:59 厳守

掲載料支払期限 2019 年 11 月 25 日

論文発行 2020 年 3 月号

※掲載料前払い制導入に伴い、上記の支払期限が設けられておりますので御注意下さい。

詳細は以下 URL を御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_6-10.html#7.1

5. 特集編集委員会

- ・委員長 竹内勇剛（静岡大）
- ・副委員長 小森政嗣（阪電通大）
- ・幹事 近藤一晃（京大），坂本隆（産総研），新井田統（KDDI 総合研）
- ・委員 安藤英由樹（阪大），繁樹博昭（高知工科大），石井亮（NTT），寺田和憲（岐阜大），松田昌史（NTT），草野孔希（NTT），宮崎慎也（中京大），埴大（名古屋市立大），道満恵介（中京大），永井岳大（東京工大），酒向慎司（名工大），藤田和之（東北大），塩野目剛亮（帝京大），馬田一郎（KDDI 総合研），坂井田瑠衣（国立情報学研）

6. 問合せ先

- ・竹内勇剛（静岡大学）
takeuchi@inf.shizuoka.ac.jp